

第6回 地域フォーラム
「野迫川村発展ビジョン」

1

かどたに きいちろう
野迫川村長 角谷 喜一郎

令和元年9月16日

野迫川村の現状①



本村の人口・世帯は、令和元年7月31日現在

2

375人・216世帯

と年々過疎化が進行している。

野迫川村の現状②



3

また、65歳以上の高齢者・高齢化率は

187人・49.87%

流入人口も少なく、担い手となる若者が不足。

野迫川村の現状③



さらに、都市部からの有効な公共交通網がなく、

4

年間宿泊客数は約 10,000人と
ほぼ横ばい状態

野迫川村の現状④



担い手となる若者の定住を促したいが・・・

5

子どもたちは高校生になると
村を出てしまう。

今後の方向性



I 地方創生実現への着実な取り組み

II 安全・安心に暮らすことのできる生活基盤の整備

III 災害からの復興及び減災への取り組み

6

IV 教育・文化の振興による魅力的な村づくり

V 行財政改革の推進

野迫川村の取組①



I 地方創生実現への着実な取り組み

7

◆きのこのこの村づくり事業

→村内の雇用創出、担い手受け入れ

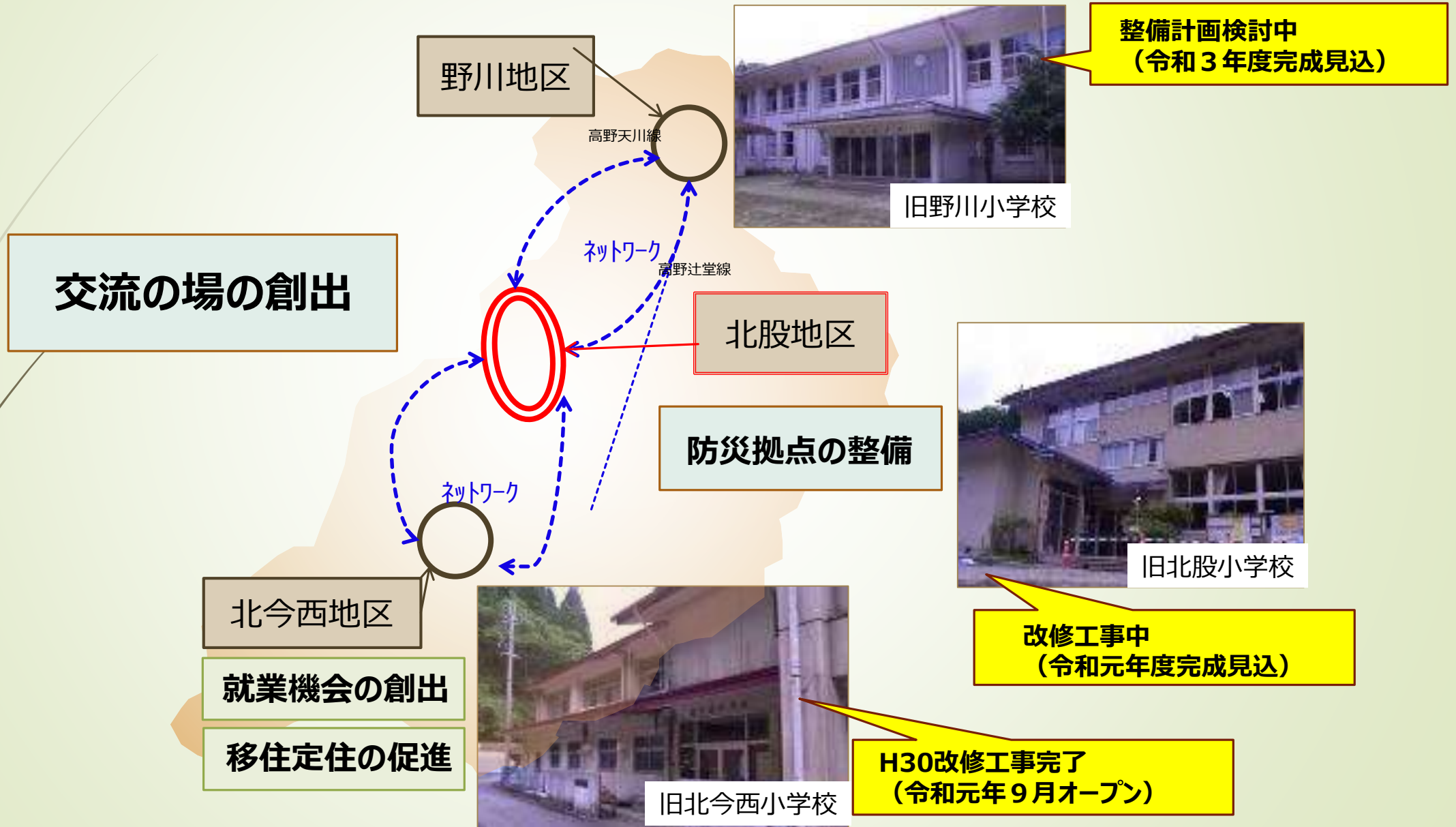
◆旧校舎を活用した移住体験や地域の交流施設

→移住・定住に加え、「関係人口」の創出・拡大



廃校舎のリノベーションによる持続するまちづくり

8



野迫川村 移住・定住促進施設 ぶなの森 (旧北今西小学校)

令和元年
9月オープン



「野迫川村での生活に興味があるけど、いきなり移住となると不安…」という方に、野迫川暮らしのイメージを持っていただき、移住・定住に必要な情報を集めていただくための拠点としてご利用いただける移住・定住体験施設です。

管理・運営
NPO法人結の森倶楽部



野迫川村の取組②

II 安全・安心に暮らすことのできる 生活基盤の整備

◆南和広域医療企業団、奈良県広域消防組合への参画

→村民の医療・福祉体制の充実、救急搬送の実施等



◆「保育料、学童保育、給食費の無料化」、「18歳までの医療費無償化」

→子育て家庭の経済的負担を軽減



◆必要不可欠な道路等の整備

→日常生活における利便性・安全性の向上

野迫川村の取組③



Ⅲ 災害からの復興及び減災への取り組み

- ◆ 紀伊半島大水害で大きな被害を受けた北股地区の更なる整備
旧校舎を活用した、避難所及び災害研修施設の整備
→ 紀伊半島大水害からの完全復興
- ◆ 防災訓練の継続実施
→ 防災意識の向上



北股地区のまちづくり計画（案）

12



全国でも稀な、民家に近い位置で深層崩壊が生じた
北股地区のH23紀伊半島大水害災害現場



旧北股小学校整備後のイメージ

旧北股小学校をリノベーションし、
大水害の**復旧・復興等、農林業の研修所**として活用

また、地区の中心に位置することから、
避難所だけでなく、地域交流の場として活用

野迫川村の取組④



IV 教育・文化の振興による魅力的な村づくり

◆教育の情報化を推進

→ I C T 教育環境の充実

→村外の学校との連携（三郷町等との遠隔授業に向けた取組）

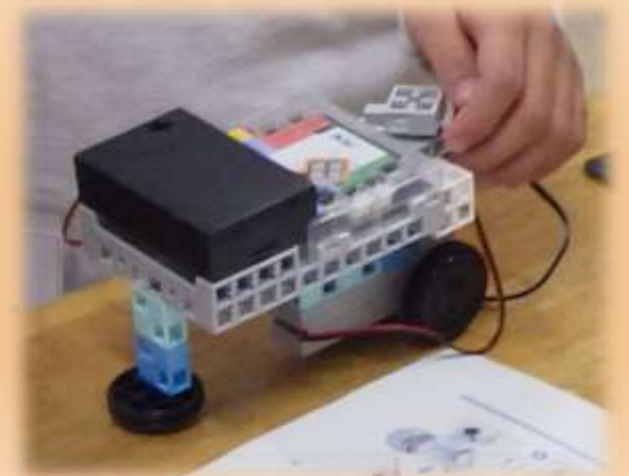
◆中学生が参画する「子ども未来議会」を開催

→自分の住んでいる村を誇りに思い、郷土愛を育む

ICT教育に係る野迫川村の取組状況

<現状>

- 全ての児童・生徒及び教職員へタブレット機器を配布
- 学校敷地内のWi-fi環境を整備
- 三郷町の学校との連携（プログラミング教室の開催等）



野迫川村の取組⑤



V 行財政改革の推進

- ◆ **他の自治体と共同で国保、税金関係の基幹系システムを更新**
→費用対効果を重視した住民サービスの充実
- ◆ **「野迫川村総合計画2020」「野迫川村総合戦略」の改訂**
→本村の将来像を十分検討した上で、新たなビジョンを策定



野迫川村は、本年、**村制施行130周年**を迎えました。

本村が今後も元気に続くことを願い、**10月12日には
記念式典の開催**を予定しております。

16

ご清聴ありがとうございました。

野迫川村長 かどたに 角谷 きいちろう 喜一郎